

英紙ガーディアン（2002年11月4日）



Starlin Abdi Arush

彼女は、祖国に希望をもたらすためにソマリア部族主義と戦ってきた平和活動家、救援活動の担い手であった。

武装集団のトップと交渉をするにしろ、病院設立をするにしろ、ソマリアオリンピック委員会の会長職を務めるにしろ、45歳でナイロビで殺害されたスタリーン・アブディ・アラシュはユーモアと良識ある唯一の声であった。外交官の中には、彼女こそ民主主義ソマリアの初代大統領であるとの噂もあったが、彼女は権力に対して無関心であった。

ソマリアの武装集団のトップ達による和平会議（10月14日よりケニアで休戦に向けた話し合いが行われていた）に参加する途中彼女は亡くなった。スタリーンは強盗の犠牲になったと思われる。1991年以来続いた虚無な戦争を生き抜き毎日のように銃で武装する輩に直面していた彼女の皮肉な最後となった。

スタリーンにとって現代国家の仕組みである部族主義には居場所がなく、この現代政治の原則を拒否する形で、ソマリアの建国者達を助けようと企図していた。

スタリーンは、1993年アイディードとアイディードを悪の枢軸とみなすアメリカの平和維持軍との争いを終わらせようと交渉に尽力した。しかし、アメリカはアイディードに激しい攻撃をしかけ、その結果アメリカは新たな部族紛争の一派となった。

1999年国連の支援で出来た政府における要職をスタリーンは断った。

スタリーンは、部族の割合に応じて選ばれた政府は失敗するだろうと予言した。

スタリーンは、COSV（イタリアのNGO）の支援活動等を引き継ぐために、地方政府の設立が必要と主唱してきた。プロジェクトの受益者達がこのような政府を支持することが期待でき、国家再建できると主張した。

スタリーンは少女時代をメルカですごし、男性社会のソマリアで彼女が何をすべきかを育んだ。

彼女の母（最初の夫から引き離され別の男性と再婚させられた）は、3人の息子同様4人の娘にも期待し、スタリーンにイスラム社会の悲しい愛の出来事や男性優位主義による矛盾の耐えがたさ等を話した。

未婚女性としてスタリーンは、決して頭にスカーフやベールを掛けることはなかった。

カソリックの修道女高等学校を卒業し、スタリーンは13年間イタリアで生活した。医学学校に通った後、チューリン市役所でキャリアを積んだ。イタリアの縁故主義組織は珍しいものではなかったが、民主主義的自由に心惹かれた。

1991年ソマリアが内戦に突入し、彼女の弟と姉ハリマの夫がモガデシュで殺されると、彼女は姉のハリマを助けるためにソマリアに戻った。数週間後モガデシュでの紛争が始まり、

彼女らの家も砲撃を受け荒らされた。

内戦のさなか、ハリマとスタリーンは食糧配給活動を組織した。これが飢饉の到来と共に彼女を国連の緊急支援活動と係わるようにさせた。スタリーンが次第に強力な批評家になるにつれ、アイディードは彼女達のあら探しを始め、国際的繋がりを持っているという理由で、部族の法廷に引っ張り出し、「彼女達は外国の手先である」と非難した。

その後、イスラム原理主義者の捕虜となっているイタリアの支援メンバーの解放交渉のために、スタリーンはメルカに戻ってきた。メルカの悲惨な運命を変えるために彼女は侮辱を忍耐した。兵士はスタリーンに余計なこと（捕虜の逃亡を助ける事）をしないように言い、銃を彼女に向けて「なぜ我々があなた信じなければならないのか」と尋ねた。

スタリーンは、彼女の家族が何世代にも渡って住んできたメルカで彼女を侮辱する殺し屋がいることに衝撃を受けた。彼女はメルカを正常にすると誓った。

それはたやすいことではなかった。その病院には 300 人が働いていたが、従業員は怠惰な武装兵であり、医療器具も殆んどなかった。

殺し屋が彼女ののどに銃を突きつけた時、「私は、ハビル・エジ氏族のスタリーン・アブディ・アラシュです。銃を置きなさい、そうしなければあなたは明日までに死ぬでしょう。」彼女はこのような出来事を必然の運命として受け入れていた。

彼女の支援プロジェクトには、母親や赤ん坊のための病院・クリニック、3000 人の子供達のための学校、武装兵士の武装解除と職業訓練があります。外国の特派員にとってこれらはソマリアにおける唯一のグッドニュースである。

スタリーンはこの支援プロジェクトを他の人に任せ、メルカに地方政府を設立する手助けをしようとしていた。人々が彼女を支持したことは疑う余地がないだろう。

1000 人以上の人々が道路に並び彼女の遺体を迎えた。

彼女は、彼女のファミリーと彼女のフィアンセによって蘇ることでしょう。

彼女のフィアンセ、ロナルド・マーシャル（フランスの学者）は「彼女は全く自分の未来について考えたことはない。彼女はただ祖国のことを考えていた」と述べている。

平和活動家、支援活動の担い手、スタリーン・アブディ・アラシュは、1957 年 3 月 3 日に生まれ 2002 年 10 月 24 日になくなった。